

クメジマボタル観察会の目的について

久米島ホタルの会では、2000年の久米島ホタル館、開館当初から、毎年、4月のクメジマボタルが飛翔する時期には、欠かすことなく鑑賞会を開催してきました。

その大きな目的は、クメジマボタルが、久米島の固有種であり、地球環境的にも貴重な生き物である事と、そのホタルが、久米島の人々の暮らしを守るためのバランスバロメーターの役割を持っていることを、共に暮らす地域の方々に知らせ、理解と協力を求めるためです

久米島は、離島の中でも豊かな自然環境を有しています。
それは、火山層の成分と地層の恩恵で、ミネラル豊富な土壌と、海に雨水が流れ出さずに保たれることで、湧き水が豊富なためです。
その自然環境の恩恵が、主食の米作りを可能にし、その波及効果から、久米島紬や伝統文化を格式高く育むゆとりが、もたらされました。

人の暮らしの基盤である農業、漁業、産業を、循環型に保つためには、水の利用方法が要となります。

その水の状況を偽りなく、分かりやすく教えてくれるのが、幼虫時代を水の中で暮らすクメジマボタルなのです。

そのため、クメジマボタルの保全を行うということは、ホタルの生息環境である河川や陸生のホタルの生息する草地の状況を良好に保つ必要があります。こうした関わり方の積み重ねを、広げていく事が、未来の久米島を、夢つなぐ島にすることに、確実につながるのです。

会では、島の自然環境を守ることが、島の人々の暮らしの基盤となる事と考え、観察会を行いながら、参加費を募って活動を支える資金としています。
今後とも、多くの方々の理解とご協力をよろしくお願いいたします。

NPO久米島ホタルの会
事務局代表 佐藤直美